



貴（たか）き志を持つ人づくり

沼津市教育長 奥村 篤

昨年、私たちは国難とも言える新型コロナウイルス感染症と、共に生きるという共通認識に立って「新しい生活様式」を身に付けてきました。令和3年度を迎えても、ウイルスの変異株が確認されるなどコロナの終息は見通せず、今年もコロナと向き合っていかなければなりません。1年間コロナと向き合ってきて思うことは、このコロナ禍は、人類よりはるかに長い歴史を持つウイルスが、私たちに生き方を問うているのではないかということです。

学校では、子供たちの健康と安全の確保が最優先となりますが、同時に子供たちの「学びの保障」も重要であります。子供たちは、教科の学習だけでなく、集団生活を通していろいろなことを学びます。子供の成長や発達には、適切な時期に適切な経験や学習が必要で、その時期を逃してしまうと新しい能力を身に付けるのは、かなり困難になると思います。

各学校では工夫して授業を行ったり、修学旅行等の学校行事の開催時期や内容を変更したりするなど、感染症対策を講じながら学びの保障に尽力してきました。そのような中、コロナに関わりながら、子供たち自らがいろいろなことを考え、行動する姿も見られました。

普通に過ごせていたことへの有り難みを実感し、地域医療を支えてくださる医療従事者に応援と感謝の気持ちを込めたメッセージを送ろうと全校に呼びかけた小・中学校。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害を防ぎ、みんなが心から暮らしやすい社会を目指そうと、「シトラスリボンプロジェクト」に賛同して取り組んだ小・中学校等々。

私は、子供たちが自分の生活を見つめ直したり、人のためにと考えて行動したりしている姿に感動し、予測困難な社会を乗り越えようとする、たくましさやしなやかさを感じました。

令和3年3月、教育委員会ではこれからの沼津の教育の方向性を明確に示し、教育施策を総合的に進めていくための指針として、新しい「沼津市教育基本構想」を策定し、目的を「誇り高い沼津を創造する 貴（たか）き志を持つ人づくり」としました。

今年度も未来を担う子供たちの学びを保障し、そして「沼津を愛し、誇りを持ち、自分自身が関わって社会を変えていく」というシビックプライドを持った、「貴き志を持つ人」の育成を進めていきたい、と強く思っているところであります。

青少年教育センターの方針・活動



1 方針

青少年の健全育成を図るため、家庭をはじめ地域・学校・警察他関係機関と連携し、補導・教育相談・研修を行います。

2 活動内容

(1) 補導

① 補導活動

中央補導と地区補導の活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、青少年の非行・被害防止に努めます。

② 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

③ 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

(2) 教育相談

① 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

② 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

③ 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

④ 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

⑤ 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

⑥ 子どもの育ちを支える講座「そよかぜ」

子どもの心や体の発達を理解するための保護者向け講座を行います。

(3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」における相談指導学級での体験研修を実施します。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：Tel 951-3440

令和3年1・2・3月の状況

各月及び令和2年度の新規相談件数、令和2年度の相談ケース数と延べ相談回数は以下のとおりでした。

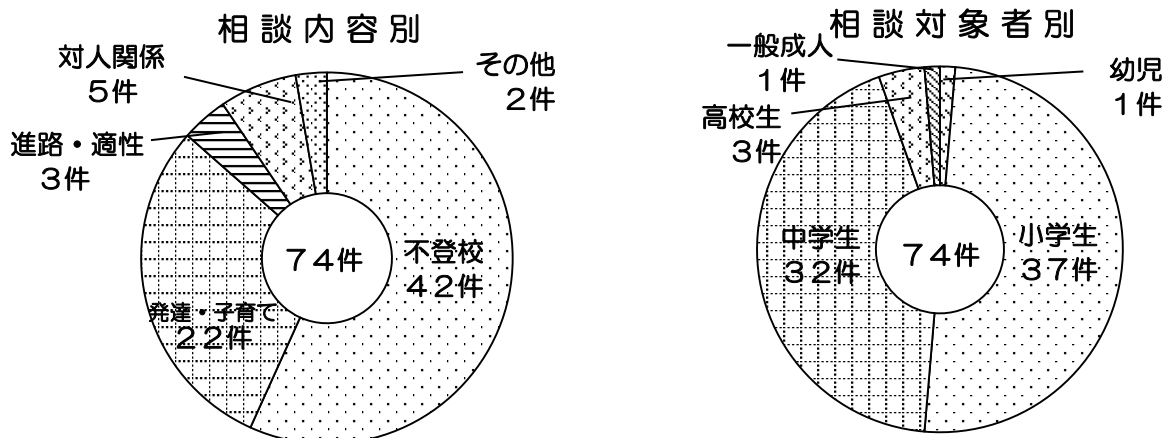
1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非 行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合 計
1月	0	2	1	0	0	0	3
2月	0	7	1	0	1	0	9
3月	0	4	2	0	0	0	6

2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼 児	小学生	中学生	高校生	少 年	一般成人	合 計
1月	0	1	2	0	0	0	3
2月	0	3	6	0	0	0	9
3月	0	3	3	0	0	0	6

3 令和2年度の新規相談受付状況



4 令和2年度の相談ケース数

※年度における相談者1人を相談1ケースとする

	非行	不登校	離・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	51	24	2	1	2	80
女	0	40	9	3	5	0	57
合計	0	91	33	5	6	2	137

5 令和2年度の延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	1,107	0	1,107
女	653	0	653
合計	1,760	0	1,760

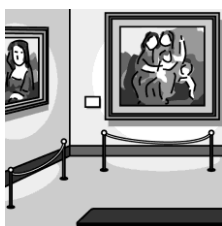
6 はばたき活動の様子

1/20(水)新春お楽しみ大会(8人)
2/16(火)モンミュゼ沼津見学(4人)
3/ 5(金)一歩ふみだしてみよう(6人)

3学期は月に1回の活動でした。新春お楽しみ大会は、すごろくや百人一首をしました。モンミュゼ沼津の見学では、美術館の人の説明を聴きながら、沼津に縁のある版画家や版画の種類について学ぶことができました。3月は心理の先生と一緒に活動をし、ストレスへの対処法を教えてくださいました。

今年度のはばたき活動は、9月からの実施で活動内容を制限し、例年実施している相談指導学級と合同の活動ができませんでした。それでも、延べ57人の児童生徒が参加し、子供同士で関わりながら小集団で活動する楽しみを味わったのではないかと思います。

これからも異年齢の小集団で関わり合えるはばたき活動を通して、一人一人に応じた支援をしていきます。



7 相談指導学級の様子

令和2年度は、4・5月が新型コロナ対策のため臨時休級となり、通級開始が6月1日、年間の開級日数は189日となりました。年間の通級者数は11人で、中学3年生10人（男子5人、女子5人）、中学1年生1人（男子）でした。

中学3年生が多かったので、高校進学を意識した活動が中心となりました。通級生はそれぞれの力に応じた問題集を使って、中学1・2年生の復習や3年生の学習を自主的に学び、分からないところは学級担当や面接担当に聞きながら前向きに取り組みました。

新型コロナは、特に体験活動に大きく影響を与え、農園体験・ハイキング・調理体験は実施できませんでした。さらに、スポーツ活動を屋外のウォーキングに変更し、創作活動は塗り絵、ステンドグラス風工作など、活動内容を工夫し、どの活動においてもマスクの着用、手洗いの徹底、三密の回避を実践しました。

高校受験を目前にした1月は面接練習に取り組みました。どの生徒も教科学習以上に緊張し、質問にうまく答えられるかとても心配していましたが、練習した甲斐もあって、全員希望する高校に進学することができました。

本年度も保護者の皆様や学校の先生方と連携し、通級する児童生徒一人一人が希望する進路を歩んでいけるような支援を続けていきたいと思っています。

電話相談

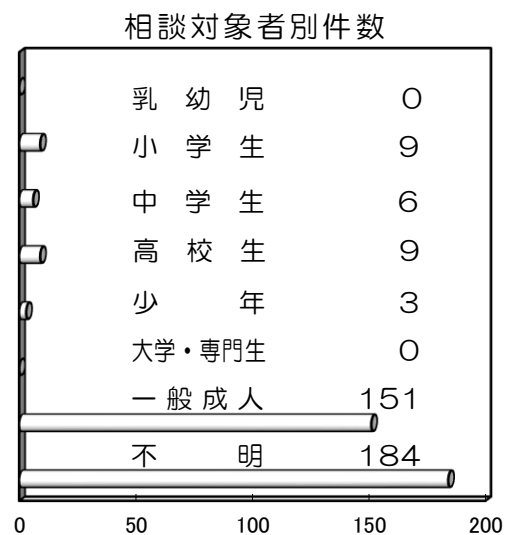
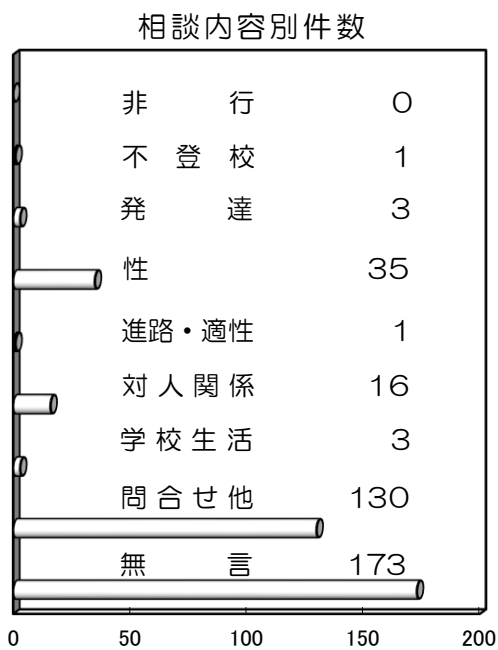


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：
 午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

令和3年1・2・3月の状況

1月には98件、2月には121件、3月には143件の相談が寄せられました。
 (前年1月：433件、前年2月：225件、前年3月：199件)

1 1・2・3月の相談状況



2 令和2年度の電話相談受信件数状況

総件数 2,734件 (前年同期3,525件)

(1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	5	10	66	2	33	10	1,223	1,385

(2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専門生	一般成人	不明
件数	0	17	15	25	8	0	1,242	1,427



見つめ直す「補導」

第二地区補導委員 五道 素子

私が補導というものに携わって、どれくらいだったのでしょうか。小学校のPTA 補導や母親補導委員として、昼夜いろいろな場所を歩きました。昨年も、「さあ今年度も例年通り、他の方々と共に頑張ろう」と意気込んでいましたが、予期せぬ事態となってしまいました。世界のあちこちでコロナが広がり、感染拡大防止のため、3月から約3か月もの間休校となってしまい、さらに行事も次々と中止。子供たちをはじめ、社会全体に大きな影響をもたらしたのです。この生活の中、私は補導についてもう一度見つめ直してみることにしました。「補導…正しい方向へ教え導くこと」辞書にはそのように記されています。街中を歩き声を掛けることが一見補導の活動のように思えますが、正しい方向へ教え導くことの根本には、やはり家庭の中での信頼や愛情の深さが大きく関係しているのだと感じます。コロナで自粛生活が続く中、いったいどれくらいの会話をし、子供たちのことに真剣に向き合えたのでしょうか。私には3人の子供がいますが、上の2人は家を出て一人暮らし。それまではあまり連絡を取らなかったのですが、コロナ感染が拡大してからは、心配で心配で、定期的に様子を聞くようになりました。末の子は高校生なので話す時間がたっぷりあり、将来の夢のこと、学校のことなど今まで以上に会話が弾みました。会えない2人の子、そして末っ子と、これを機に何だか親密な関係が築けたのではないかと実感しています。少しずつ元通りの生活に戻りつつある今も、引き続き会話の時間を持つように心がけている毎日です。そして、これからの子供たちの生活・自立を応援し、いつまでも「見守られている」という安心感を感じてくれたら、と思います。そして間違った方向へ行かないように背中をそっと押してあげたいです。

1 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況（1月～3月及び令和2年度累計）

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員	地区代表	警察	補導委員区計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等確認	愛の声かけ
1月	0	0	0	0	0	80	0	5	10	15	0	41
2月	0	0	0	0	0	74	0	5	7	12	0	18
3月	4	4	4	0	0	173	0	8	17	25	18	92
合計	4	4	4	0	0	327	0	18	34	52	18	151
累計	37	34	65	1	0	1672	3	78	199	280	164	903

*新型コロナウイルス感染症対策のため、1～2月及び3月12日～3月26日の中央街頭補導を中止しました。また、同期間、地区補導を中止した地区もありました。

2 1月～3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

補導委員の皆様、1年間、青少年の非行・被害防止にご尽力くださりありがとうございました。本年度は、新型コロナウイルス感染の爆発的な拡大により、中央補導は3割程度しか実施できませんでした。各地区においても、中止したり補導委員の人数を減らしたりするなど、苦慮した1年間だったと思います。令和3年度も、外出や集団活動を自粛する状況の中での難しい補導となりますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

学 職 別 区 分		性 別	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他 学 生	有 職 少 年	無 職 少 年	計	一 年 間 累 計
行 為 種 別	飲 酒	男							0	0
		女							0	0
	喫 煙	男							0	0
		女							0	0
	薬 物 乱 用	男							0	0
		女							0	0
	夜 間 は い か い	男							0	11
		女							0	3
	不 良 交 友	男							0	0
		女							0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	0
		女							0	0
	ゲームセンター入場	男			4				4	62
		女			10				10	70
パチンコ店入場	男							0	0	
	女							0	0	
カラオケ店入場	男							0	0	
	女							0	0	
自転車の暴走行為	男							0	1	
	女							0	0	
自転車の二人乗り	男							0	2	
	女							0	0	
自転車の無灯火	男							0	2	
	女							0	0	
危険な遊び	男							0	0	
	女							0	0	
そ の 他	男	2		2				4	10	
	女							0	3	
計		男	2	0	6	0	0	0	8	88
		女	0	0	10	0	0	0	10	76
男 女 合 計			2	0	16	0	0	0	18	164

法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	48	16	23				87	473
	女	56	4	4				64	430
男 女 合 計		104	20	27	0	0	0	151	903

情報コーナー

「学校に行く気はあるが登校できない…」 「いじめられているみたい…」 「心や体の発達が気になる…」 など
お子さんのことで困っていることや悩んでいることがございましたら、青少年教育センターにご相談ください。

面接相談

原則：保護者からの電話による
 申し込み **055-951-3440**

初回面接：保護者のみ

児童生徒との面接

通所面接

- ・自己決定力を身に付ける
- ・自信の回復を図る
- ★少人数での体験活動「はばたき」への参加

学校復帰・社会的自立

特別な手続きは必要ありません。電話でお申し込みください。

通所：青少年教育センターへ児童生徒が面接相談に来所することです。

- ・1回1時間を基本とする予約制
- ・原則1対1の個人面接

相談指導学級

集団で生活、学習することが必要であり適切であると判断された児童生徒が通うところです。

電話相談

やまびこ電話
055-951-7330
 ※相談は匿名で構いません。

子どもの成長を支える講座 「そよかぜ」

専門家の知見を子育てに役立てていただけるよう**臨床心理士、言語聴覚士**による講話を行っています。
 思春期における子育て、学校に行きづらさを感じている子どもの理解と対応、ことばの発達に関する内容等、子育てに役立つ内容が盛りだくさんです。

青少年教育センターの活動予定（5・6・7月の主な活動）

※新型コロナや天候等の状況により、中止や延期、内容変更等を行うことがあります

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
5月13日（木）	ウォーキング	5月12日（水）	点つなぎ
20日（木）	創作活動	26日（水）	びゅうお見学(学級と合同)
26日（水）	びゅうお見学 (はばたき活動と合同)	6月16日（水）	狩野川散策
6月10日（木）	ウォーキング	7月14日（水）	塗り絵
17日（木）	創作活動	補 導 関 係	
24日（木）	高校見学（沼津）	5月12(水)13(木)14(金)	新任補導委員研修会
7月 1日（木）	高校見学（三島）	28日（金）	補導委員会感謝状贈呈式
15日（木）	創作活動	6月25日（金）	補導委員会代表者会②
		7月 5日（月）	非行・被害防止キャラ-ン
		12日（月）	県内一斉夏季補導
		31日（土）	夏まつり特別補導1日目
		8月 1日（日）	〃 2日目

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
 シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、
 右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています